



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社RYODEN 上場取引所 東  
 コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 富澤 克行  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡村 幸三郎 (TEL) 03-5396-6111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	158,833	△19.3	3,488	△44.4	3,831	△39.2	2,846	△34.1
2024年3月期第3四半期	196,907	1.1	6,274	△10.3	6,301	△7.7	4,323	△8.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,612百万円(△56.7%) 2024年3月期第3四半期 6,035百万円(△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	129.92	129.44
2024年3月期第3四半期	197.81	196.97

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	142,648	87,358	61.1	3,976.14
2024年3月期	156,027	87,083	55.7	3,976.49

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 87,229百万円 2024年3月期 86,939百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	46.00	—	60.00	106.00
2025年3月期	—	53.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	53.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	△15.8	5,500	△33.9	5,800	△29.6	4,300	△25.0	196.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	22,824,977株	2024年3月期	22,824,977株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	886,690株	2024年3月期	961,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	21,913,487株	2024年3月期3Q	21,855,704株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(株主資本等関係)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における利下げが開始され、米国経済は堅調に推移しました。しかし、ウクライナ情勢や中東情勢での緊迫した状況の継続、中国における不動産不況の長期化、さらには米国の政策変化など、依然として不透明感が払拭されることなく推移しています。

国内経済は、賃上げによる所得の増加やインバウンド需要の拡大などにより、サービス業を中心に回復基調が続いています。円安による輸入材の高騰や国内物価の上昇などにより個人消費の回復は緩やかなものに留まる一方、企業業績は、円安の継続や内需拡大により堅調であり、米国の経済や外交政策の動向による下振れリスクはあるものの、今後も堅調に推移するものと思われれます。

当社グループの取引に関する業界では、電子部品・半導体分野では、自動車向けパワー半導体やAI関連製品の需要は堅調に推移しましたが産業機器用途では在庫調整局面も見られ、中国市場においても不安定な状況が続き低調な推移となりました。FA分野でも、ユーザーの在庫調整による影響が残るなか、中国市場においても低調な状況が続き市況の回復が待たれる状況となりました。冷熱ビル分野ではインバウンド増加により店舗設備が増加し、省エネや環境対策設備なども堅調に推移し資材の高騰や技術者不足などの影響はあったものの概ね好調に推移しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,588億33百万円(前年同期比19.3%減)、営業利益34億88百万円(前年同期比44.4%減)、経常利益38億31百万円(前年同期比39.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益28億46百万円(前年同期比34.1%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
FAシステム	売上高	38,758	35,303	△8.9
	営業利益	1,885	945	△49.9
冷熱ビルシステム	売上高	22,331	23,415	4.9
	営業利益	976	1,135	16.3
X-Tech (クロステック)	売上高	3,899	6,578	68.7
	営業損失(△)	△311	△50	—
エレクトロニクス	売上高	131,969	93,576	△29.1
	営業利益	4,037	2,130	△47.2

## ①FAシステム

FA分野では、盤メーカー向けの販売が堅調に推移した一方、エンドユーザーやセットメーカーの在庫調整からの回復が遅れており、プログラマブルコントローラ、サーボ、インバータ等主要取扱品の販売が低調に推移しました。

その結果、FAシステムの売上高は353億3百万円、営業利益は9億45百万円となりました。

## ②冷熱ビルシステム

冷熱分野では、インバウンド需要回復等により店舗設備や省エネ及び環境対策設備への投資が上向き、店舗用エアコン、ルームエアコンを中心に暑熱対策機器の販売が堅調に推移しました。

ビルシステム分野では、建築市場における資材高騰や技術者不足による工期遅延等の影響を受けましたが、民間企業向けエネルギー関連設備等付加価値の高い商品の販売増加により堅調に推移しました。

その結果、冷熱ビルシステムの売上高は234億15百万円、営業利益は11億35百万円となりました。

## ③X-T e c h

ヘルスケア分野では、医療機関向け大型設備案件の計上等により好調に推移しました。

I C T分野では、PC・サーバーをはじめとしたIT関連機器、及び、ビデオマネジメントシステム「FlaRevo」・RFID・OTセキュリティ等、高付加価値製品の販売が堅調に推移しました。

スマートアグリ分野では、引続き植物工場野菜、フードテック関連の研究開発・生産・販売・ブランディングを提供できる体制を整え、データドリブンで収益性の高いスマート農業の実現に向け、当社独自のサービス構築に取り組みました。

以上により、X-T e c hの売上高は65億78百万円、営業損失は収益性が改善したことで減少し50百万円となりました。

## ④エレクトロニクス

国内では、車載関連市場は中国向け落ち込み等の影響を受けたものの、主要サプライヤー全般ではメモリやセンサーIC等の販売が概ね堅調に推移しました。産業機器市場は受注低迷と顧客の在庫調整局面が続き、低調な推移となりました。

海外では、中国地域は長引く市場の停滞により民生・産業機器関連向けアナログ半導体等の販売が低調に推移し、車載関連顧客も日系を中心に低調に推移しました。また、東南アジア地域でも堅調であった車載関連向けメモリ等の販売が減速基調となり民生顧客同様に低調な推移となりました。

その結果、エレクトロニクスの売上高は935億76百万円、営業利益は21億30百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が121億6百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が125億82百万円、電子記録債権が90億97百万円、商品及び製品が57億69百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比133億79百万円減少し、1,426億48百万円となりました。

負債の部は、電子記録債務が131億14百万円、支払手形及び買掛金が1億56百万円、未払法人税等が11億50百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比136億54百万円減少し、552億90百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益を28億46百万円、配当金24億74百万円計上、為替換算調整勘定が3億11百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比2億74百万円増加し、873億58百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.4ポイント増加し、61.1%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持しながら、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比129億62百万円増加し、313億85百万円の残高となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、154億41百万円（前年同期比46億99百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益42億23百万円の計上と、売上債権・棚卸資産、並びに仕入債務の減少によるネット資金の増加144億73百万円、未収入金の減少による資金の増加85百万円、法人

税等の支払22億66百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、19百万円（前年同期比7億62百万円収入増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億6百万円、無形固定資産の取得による支出5億78百万円、投資有価証券の売却による収入5億4百万円、3ヶ月超定期預金の払戻による収入8億61百万円、敷金及び保証金の差入による支出4億82百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、25億77百万円（前年同期比5億88百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払24億34百万円、短期借入金の増加76百万円、長期借入金の返済2億17百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年10月31日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,284	31,391
受取手形、売掛金及び契約資産	57,267	44,685
電子記録債権	24,444	15,347
有価証券	37	37
商品及び製品	35,201	29,431
その他	3,967	6,094
貸倒引当金	△30	△15
流動資産合計	140,172	126,971
固定資産		
有形固定資産	5,465	5,273
無形固定資産	1,038	1,376
投資その他の資産		
その他	9,600	9,284
貸倒引当金	△255	△260
投資その他の資産合計	9,345	9,023
固定資産合計	15,849	15,673
繰延資産	5	3
資産合計	156,027	142,648
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,600	27,444
電子記録債務	28,358	15,243
短期借入金	1,443	1,575
未払法人税等	1,236	86
その他	6,431	7,524
流動負債合計	65,070	51,873
固定負債		
長期借入金	1,773	1,534
退職給付に係る負債	378	371
その他	1,721	1,509
固定負債合計	3,873	3,416
負債合計	68,944	55,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,523	7,624
利益剰余金	63,226	63,599
自己株式	△726	△670
株主資本合計	80,358	80,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,724	2,219
為替換算調整勘定	2,814	3,125
退職給付に係る調整累計額	1,042	997
その他の包括利益累計額合計	6,580	6,342
新株予約権	135	116
非支配株主持分	8	12
純資産合計	87,083	87,358
負債純資産合計	156,027	142,648

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	196,907	158,833
売上原価	175,204	139,171
売上総利益	21,702	19,661
販売費及び一般管理費	15,428	16,173
営業利益	6,274	3,488
営業外収益		
受取補償金	-	70
受取利息	116	165
受取配当金	152	194
持分法による投資利益	18	60
その他	135	128
営業外収益合計	423	620
営業外費用		
支払利息	72	65
為替差損	278	180
その他	44	30
営業外費用合計	395	276
経常利益	6,301	3,831
特別利益		
投資有価証券売却益	-	393
補助金収入	70	-
段階取得に係る差益	132	-
特別利益合計	203	393
特別損失		
固定資産除却損	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	6,505	4,223
法人税等	2,181	1,372
四半期純利益	4,323	2,850
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,323	2,846

## (四半期連結包括利益計算書)

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	4,323	2,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△505
為替換算調整勘定	1,251	311
退職給付に係る調整額	99	△44
その他の包括利益合計	1,712	△238
四半期包括利益	6,035	2,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,035	2,608
非支配株主に係る四半期包括利益	0	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,505	4,223
減価償却費	477	575
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△22
受取利息及び受取配当金	△268	△360
支払利息	72	65
持分法による投資損益(△は益)	△18	△60
補助金収入	△70	-
固定資産除却損	-	1
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△393
段階取得に係る差損益(△は益)	△132	-
売上債権の増減額(△は増加)	△470	22,050
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,329	5,953
仕入債務の増減額(△は減少)	9,831	△13,530
未収入金の増減額(△は増加)	3,222	85
その他	69	△1,205
小計	13,894	17,383
利息及び配当金の受取額	306	391
利息の支払額	△74	△66
法人税等の支払額	△3,385	△2,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,742	15,441
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△229	△206
無形固定資産の取得による支出	△169	△578
投資有価証券の取得による支出	△140	△43
投資有価証券の売却による収入	3	504
有価証券の償還による収入	166	-
定期預金の純増減額(△は増加)	△435	861
敷金及び保証金の差入による支出	-	△482
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	71	-
補助金の受取額	70	-
その他	△119	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781	△19
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△71	76
長期借入金の返済による支出	△52	△217
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△1,863	△2,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,988	△2,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	459	118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,431	12,962
現金及び現金同等物の期首残高	11,091	18,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,522	31,385

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき取締役及び対象使用人に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式33,000株の処分を行いました。また、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式42,500株の処分を行い、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が57百万円減少し、資本剰余金は自己株式処分差益100百万円を計上したことにより増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間における資本剰余金が76億24百万円、自己株式が6億70百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間における影響額ははありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,758	22,331	3,899	131,917	196,907	—	196,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	52	52	△52	—
計	38,758	22,331	3,899	131,969	196,959	△52	196,907
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	1,885	976	△311	4,037	6,586	△312	6,274

(注) セグメント利益又は損失の調整額△312百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△313百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,303	23,415	6,578	93,536	158,833	—	158,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	40	40	△40	—
計	35,303	23,415	6,578	93,576	158,873	△40	158,833
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	945	1,135	△50	2,130	4,160	△671	3,488

(注) セグメント利益又は損失の調整額△671百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△661百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月15日 取締役会	普通株式	895	41	2023年3月31日	2023年6月2日	利益剰余金
2023年10月30日 取締役会	普通株式	1,005	46	2023年9月30日	2023年12月4日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月10日 取締役会	普通株式	1,311	60	2024年3月31日	2024年6月4日	利益剰余金
2024年10月31日 取締役会	普通株式	1,162	53	2024年9月30日	2024年12月4日	利益剰余金

## 3. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(80.9%) 159,248	(10.8%) 21,294	(5.6%) 10,959	(2.0%) 4,056	(0.7%) 1,347	(19.1%) 37,658	(100.0%) 196,907

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(79.1%) 125,640	(11.2%) 17,758	(6.5%) 10,278	(2.4%) 3,817	(0.8%) 1,338	(20.9%) 33,192	(100.0%) 158,833

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比です。